

平成 30 年度（2018 年度）陸用内燃機関生産（国内、海外）・輸出中間見通しについて

一般社団法人 日本陸用内燃機関協会

平成 30 年 7 月下旬より 9 月上旬にかけてエンジンメーカー 21 社を対象にアンケート調査を実施し、平成 30 年度陸用内燃機関の生産（国内、海外）・輸出中間見通しと平成 29 年度の実績をまとめました。陸用内燃機関生産、輸出見通し調査は当初（2 月調査）、中間（8 月調査）の年 2 回実施しております。尚、ガス機関につきましては、平成 25 年度分より統計資料として取りまとめております。

平成 29 年度の国内生産台数は、ディーゼル機関が輸出の大幅増加に支えられて前年度比大幅増加したものの、ガソリン機関の大手メーカーの事業撤退による減少が大きく、全体では対前年度比 98.8%の 3,616 千台で、平成 23 年度から 7 年連続の対前年割れの実績となりました。また、海外生産台数は、同 98.9%の 10,208 千台と 2 年ぶりの減少となり、これにより国内と海外を合わせた生産台数も、同 98.9%の 13,824 千台となりました。なお、ディーゼル機関の国内と海外を合わせた生産台数は同 111.3%の 1,914 千台で、過去最高となりました。

平成 29 年度の国内需要動向は、農業従事者の高齢化による農機需要低迷や東京五輪に向けた建機需要一服感により大きな動きが見られませんでした。一方海外は、米国市場の堅調さと中国建機市場の回復、欧州は天候悪化による芝刈市場の苦戦があるものの建機市場が好調であり、これらの輸出に支えられる形でディーゼル機関の国内生産及び輸出が大幅に増加しました。

平成 30 年度の国内需要動向は、一部の小形ガソリン機器に電動化が進む動きがみられるものの、全体では大きな動きがない状況です。一方海外は、米国、中国、欧州が引き続き好調で、輸出増加に支えられて国内生産が増加の見通しです。また、ガソリン機関の一部に国内生産回帰の動きが見られます。

このような中、平成 30 年度の国内生産は、ガソリン機関、ディーゼル機関共に輸出の増加を見込んだ生産増加により、対前年度比 117.2%の 4,240 千台で 8 年ぶりに対前年度増加の見通しとなりました。海外生産は、ガソリン機関の減少があるものの、海外需要増を見込んだディーゼル機関の大幅増加があり、国内と海外を合わせた生産台数は同 104.9%の 14,502 千台と、4 年ぶりに 1400 万台超えの見通しとなりました。ディーゼル機関の国内と海外を合わせた生産台数は同 120.3%の 2,302 千台で、更に過去最高となる見通しです。また、全体の海外生産比率は、ガソリン機関の海外生産比率低下により同 3.0 ポイント低下の 70.8%となる見通しです。

平成 29 年度の実績と平成 30 年度の中間見通しを以下のようにまとめました。

〔国内生産〕

(1) ガソリン機関

平成 29 年度の国内生産は、台数で対前年度比 88.2%の 2,040 千台、金額は 79.7%の 483 億円の実績です。

平成 30 年度の国内生産は、台数で同 116.6%の 2,379 千台の見通しで、当初見通しに対して 90 千台減少しました。

(2) ディーゼル機関

平成 29 年度の国内生産は、台数で同 117.9%の 1,489 千台、金額は 119.8%の 4,512 億円の実績です。

平成 30 年度の国内生産は、台数で同 118.9%の 1,770 千台の見通しで、当初見通しに対して 57 千台増加しました。

(3) ガス機関

平成 29 年度の国内生産は、台数で同 102.1%の 88 千台、金額は 122.7%の 153 億円の実績です。

平成 30 年度の国内生産は、台数で同 103.6%の 91 千台の見通しで、当初見通しに対して 10 千台増加しました。

以上の結果、平成 29 年度の陸用内燃機関の国内生産台数は、対前年度比 98.8%の 3,616 千台、金額は 114.5%の 5,147 億円の実績となりました。また、平成 30 年度の国内生産台数は、同 117.2%の 4,240 千台の見通しで、当初見通しに対して 24 千台減少しました。

〔輸出〕

(1) ガソリン機関

平成 29 年度の輸出は、台数で対前年度比 68.0%の 709 千台、金額は 76.3%の 185 億円の実績です。
平成 30 年度の輸出は、台数で同 120.0%の 850 千台の見通しで、当初見通しに対して 3 千台減少しました。

(2) ディーゼル機関

平成 29 年度の輸出は、台数で同 145.5%の 1,131 千台、金額は 132.4%の 2,915 億円の実績です。
平成 30 年度の輸出は、台数で同 123.1%の 1,393 千台の見通しで、当初見通しに対して 212 千台増加しました。

(3) ガス機関

平成 29 年度の輸出は、台数で同 113.3%の 61 千台、金額は 116.2%の 80 億円の実績です。
平成 30 年度の輸出は、台数で同 94.6%の 58 千台の見通しで、当初見通しに対して 2 千台増加しました。

以上の結果、平成 29 年度の陸用内燃機関の輸出台数は、対前年度比 101.4%の 1,901 千台、金額は 126.6%の 3,180 億円の実績となりました。また、平成 30 年度の輸出台数は、同 121.0%の 2,301 千台の見通しで、当初見通しに対して 211 千台増加しました。

[海外生産]

ガソリンは北米やアジア、ディーゼルはアジアや欧州を中心に海外 9 カ国において、会員企業 10 社が生産を行っています。

(1) ガソリン機関

平成 29 年度の海外生産台数は、対前年度比 99.2%の 9,776 千台の実績です。
平成 30 年度の海外生産台数は、同 99.4%の 9,720 千台の見通しで、当初見通しに対して 474 千台増加しました。

(2) ディーゼル機関

平成 29 年度の海外生産台数は、同 92.9%の 425 千台の実績です。
平成 30 年度の海外生産台数は、同 125.4%の 533 千台の見通しで、当初見通しに対して 1 千台減少しました。

(3) ガス機関

平成 29 年度の海外生産台数は、同 66.5%の 7 千台の実績です。
平成 30 年度の海外生産台数は、同 134.3%の 9 千台の見通しで、当初見通しに対して 1 千台増加しました。

以上の結果、平成 29 年度の陸用内燃機関の海外生産台数は、対前年度比 98.9%の 10,208 千台の実績となりました。また、平成 30 年度の陸用内燃機関の海外生産台数は、同 100.5%の 10,262 千台の見通しで、当初見通しに対して 474 千台増加しました。

[国内・海外生産合計]

(1) ガソリン機関

平成 29 年度の国内・海外生産合計台数は、対前年度比 97.1%の 11,816 千台の実績です。
平成 30 年度の国内・海外生産合計台数は、同 102.4%の 12,100 千台の見通しで、当初見通しに対して 384 千台増加しました。

(2) ディーゼル機関

平成 29 年度の国内・海外生産合計台数は、同 111.3%の 1,914 千台の実績です。
平成 30 年度の国内・海外生産合計台数は、同 120.3%の 2,302 千台の見通しで、当初見通しに対して 55 千台増加しました。

(3) ガス機関

平成 29 年度の国内・海外生産合計台数は、同 98.3%の 95 千台の実績です。
平成 30 年度の国内・海外生産合計台数は、同 105.9%の 100 千台の見通しで、当初見通しに対して 10 千台増加しました。

以上の結果、平成 29 年度の陸用内燃機関の国内・海外生産合計台数は、対前年度比 98.9%の 13,824 千台の実績となりました。また、平成 30 年度の国内・海外生産合計台数は、同 104.9%の 14,502 千台の見通しで、当初見通しに対して 450 千台増加しました。

また、海外生産比率は、ガソリン機関が、同 2.4 ポイント低下の 80.3%、ディーゼル機関が 0.9 ポイント増加の 23.1%となり、ガス機関を合わせた全体では 3.0 ポイント低下の 70.8%となる見通しです。

以上

平成30年度陸用内燃機関生産(国内、海外)・輸出中間見通し:年度ベース

一般社団法人日本陸用内燃機関協会
会員アンケートの集計値

国内生産

台数(単位:千台)

品目群	平成28年度	平成29年度		平成30年度	
	実績	年度実績	前年度比(%)	年度見通し	前年度比(%)
ガソリン機関	2,313	2,040	88.2%	2,379	116.6%
ディーゼル機関	1,263	1,489	117.9%	1,770	118.9%
ガス機関	86	88	102.1%	91	103.6%
合計	3,661	3,616	98.8%	4,240	117.2%

金額(単位:百万円)

品目群	平成28年度	平成29年度	
	実績	年度実績	前年度比(%)
ガソリン機関	60,555	48,276	79.7%
ディーゼル機関	376,673	451,180	119.8%
ガス機関	12,442	15,261	122.7%
合計	449,671	514,717	114.5%

輸出

台数(単位:千台)

品目群	平成28年度	平成29年度		平成30年度	
	実績	年度実績	前年度比(%)	年度見通し	前年度比(%)
ガソリン機関	1,042	709	68.0%	850	120.0%
ディーゼル機関	777	1,131	145.5%	1,393	123.1%
ガス機関	54	61	113.3%	58	94.6%
合計	1,874	1,901	101.4%	2,301	121.0%

金額(単位:百万円)

品目群	平成28年度	平成29年度	
	実績	年度実績	前年度比(%)
ガソリン機関	24,223	18,493	76.3%
ディーゼル機関	220,114	291,497	132.4%
ガス機関	6,903	8,019	116.2%
合計	251,240	318,009	126.6%

海外生産

台数(単位:千台)

品目群	平成28年度	平成29年度		平成30年度	
	実績	年度実績	前年度比(%)	年度見通し	前年度比(%)
ガソリン機関	9,856	9,776	99.2%	9,720	99.4%
ディーゼル機関	457	425	92.9%	533	125.4%
ガス機関	10	7	66.5%	9	134.3%
合計	10,324	10,208	98.9%	10,262	100.5%

国内・海外生産合計

台数(単位:千台)

品目群	平成28年度	平成29年度		平成30年度	
	実績	年度実績	前年度比(%)	年度見通し	前年度比(%)
ガソリン機関	12,169	11,816	97.1%	12,100	102.4%
ディーゼル機関	1,720	1,914	111.3%	2,302	120.3%
ガス機関	96	95	98.3%	100	105.9%
合計	13,985	13,824	98.9%	14,502	104.9%

海外生産比率

品目群	平成28年度	平成29年度		平成30年度	
	実績	年度実績	前年度比(ポイント)	年度見通し	前年度比(ポイント)
ガソリン機関	81.0%	82.7%	+1.7	80.3%	-2.4
ディーゼル機関	26.6%	22.2%	-4.4	23.1%	+0.9
ガス機関	10.7%	7.2%	-3.5	9.2%	+2.0
合計	73.8%	73.8%	+0.0	70.8%	-3.0

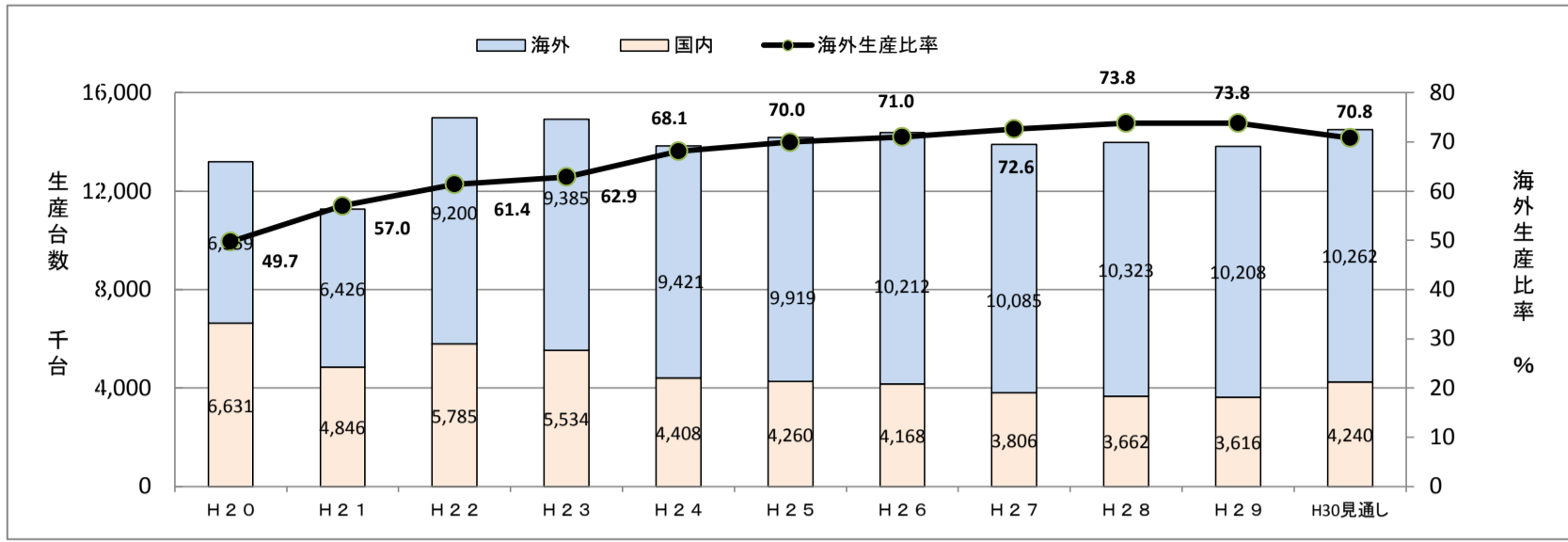
注記) 表中の台数は百の桁を四捨五入して千台単位で、金額は10万円の桁を四捨五入して百万円単位で表示しています。
海外生産台数との重複を避けるため、国内生産台数にはKD生産台数が含まれていません。

国内生産台数と海外生産台数の推移(H20~H30年度)【単体エンジン】 中間見通し

1. ガソリン、ディーゼル、ガス 合計

H30.10.1

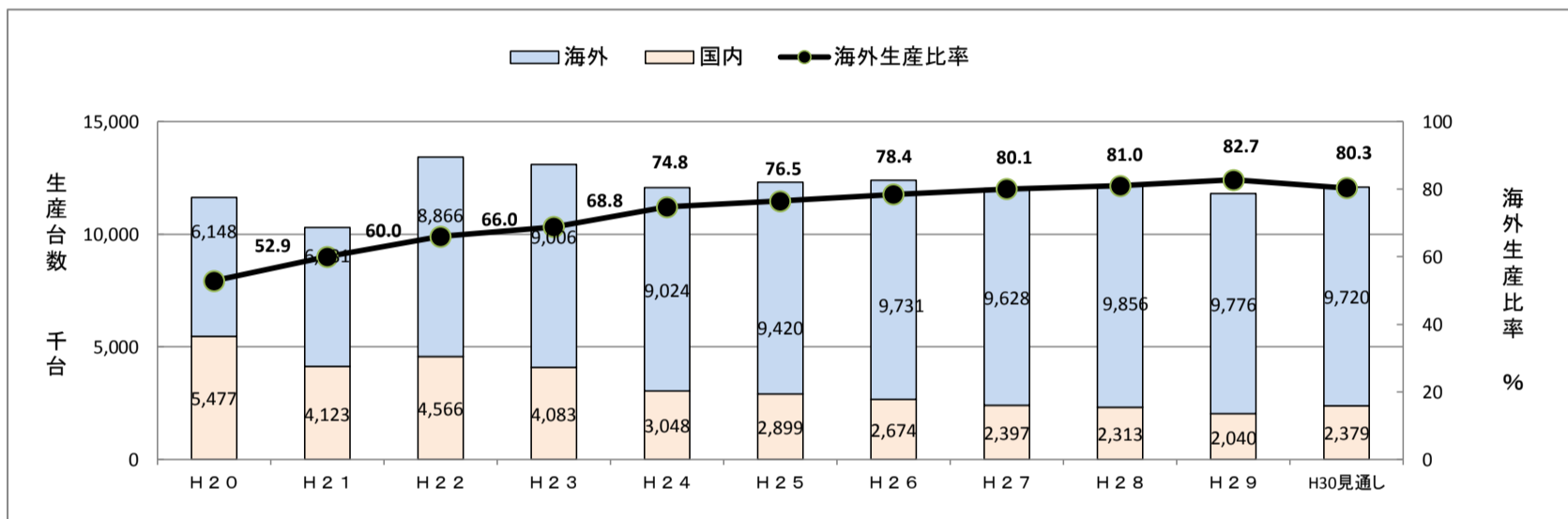
平成30年度は国内生産台数が8年ぶりに対前年度比増加の見込み。海外生産台数も増加し4年ぶりに1400万台を超える見込み。



合計	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30見通し	
国内	6,631	4,846	5,785	5,534	4,408	4,260	4,168	3,806	3,662	3,616	4,240	(千台)
海外	6,559	6,426	9,200	9,385	9,421	9,919	10,212	10,085	10,323	10,208	10,262	(千台)
合計	13,190	11,272	14,985	14,919	13,829	14,179	14,380	13,891	13,985	13,824	14,502	(千台)
海外生産比率	49.7	57.0	61.4	62.9	68.1	70.0	71.0	72.6	73.8	73.8	70.8	(%)

2. ガソリンエンジン

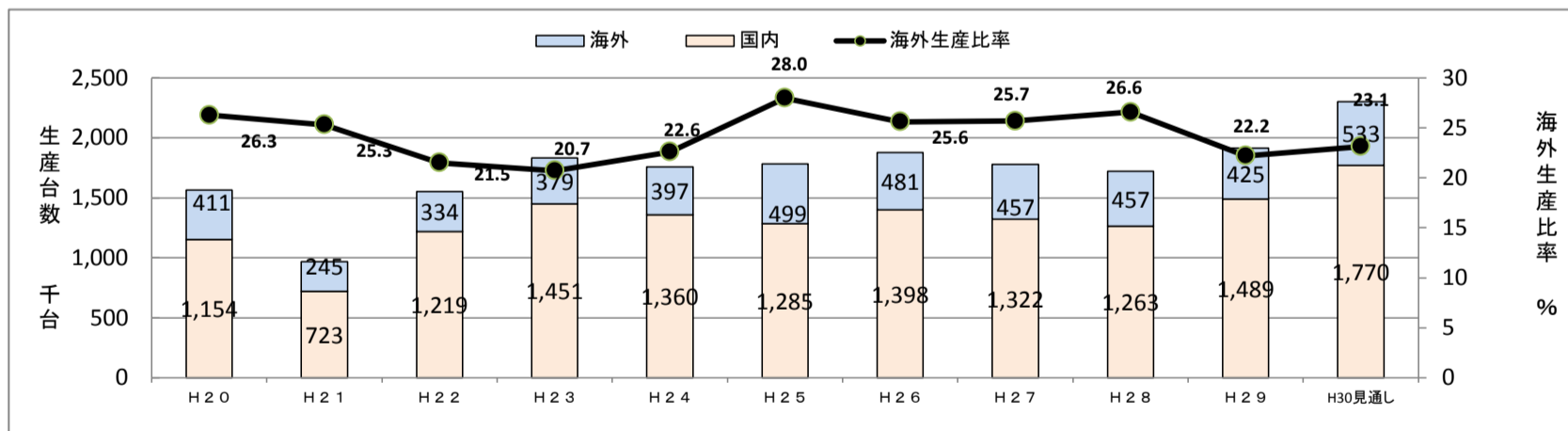
平成30年度は一部に国内回帰の動きが見られ、国内生産台数が8年ぶりに増加し、海外生産比率が統計を取り始めて以来初めて低下する見通し。



ガソリン	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30見通し	
国内	5,477	4,123	4,566	4,083	3,048	2,899	2,674	2,397	2,313	2,040	2,379	(千台)
海外	6,148	6,181	8,866	9,006	9,024	9,420	9,731	9,628	9,856	9,776	9,720	(千台)
合計	11,625	10,304	13,432	13,089	12,072	12,319	12,405	12,025	12,169	11,816	12,100	(千台)
海外生産比率	52.9	60.0	66.0	68.8	74.8	76.5	78.4	80.1	81.0	82.7	80.3	(%)

3. ディーゼルエンジン

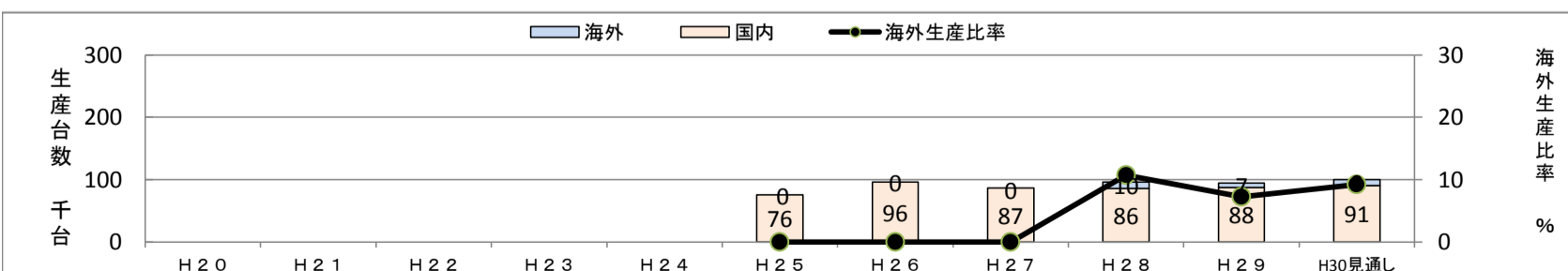
平成29年度から合計生産台数が増加し、平成29年度、平成30年度も過去最大となる見通し。



ディーゼル	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30見通し	
国内	1,154	723	1,219	1,451	1,360	1,285	1,398	1,322	1,263	1,489	1,770	(千台)
海外	411	245	334	379	397	499	481	457	457	425	533	(千台)
合計	1,565	968	1,553	1,830	1,757	1,784	1,879	1,779	1,720	1,914	2,302	(千台)
海外生産比率	26.3	25.3	21.5	20.7	22.6	28.0	25.6	25.7	26.6	22.2	23.1	(%)

4. ガスエンジン

H25年度から統計を取っている。海外生産実績の実績もあるが、比率は10%レベル。



ガス	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30見通し	
国内						76	96	87	86	88	91	(千台)
海外						0	0	0	10	7	9	(千台)
合計						76	96	87	96	95	100	(千台)
海外生産比率						0	0	0	10.7	7.2	9.2	(%)